

「静岡市はマグロ王国」であることの認知度向上に関する教材（すごろく）開発

4 質の高い教育を
みんなに



14 海の豊かさを
守ろう



11 住み続けられる
まちづくりを



キーワード

清水港・冷凍マグロ水揚げ日本一・すごろく・教材開発

○取り組んだきっかけ

静岡市には、日本一の冷凍マグロの水揚げ量を誇る清水港があります。静岡市は、マグロにかけると一世帯当たり年間支出額も全国一だということです。しかし、この素晴らしいことが、子ども達に知られていないため、普及教材(すごろく)を開発しました。

○具体的な内容

本事業では、清水港が日本一の冷凍マグロ水揚げ量であることを子ども達が親しみながら学べるように、すごろくを作成することにしました。

すごろくのマスには、○×や三択などのクイズを取り入れたり、マグロに関する情報を載せたりすることによって、マグロについての知識を増やせるようにしました。

対象は、小学校低学年としました。低学年でもできるようなすごろくであれば高学年においても行えることと、配布することにした放課後学童クラブに通う子ども達は、低学年が多いと調査から明らかになったからです。高学年でも使えるよう漢字も使用し、ふりがなを振るようにしました。

すごろくの他に、さいころやコマもまぐろを取り入れ親しみやすいようにしました。

作成するための情報収集として、12月5日に行われた「マ

○活動の目的

静岡市に生まれ育ち、静岡市を担う子ども達に向け、地域の特色を知り、慣れ親しみ、地域への誇りをもてる「しずまえ鮮魚普及教材(すごろく)」を開発することで、地域への愛情を深められるようにしました。

グロ博」に参加することができ、漁港の雰囲気や資料を多く集めました。また、静岡市経済局農林水産部水産漁港課の方からも多くの資料をいただくこともでき、このような資料を基にすごろくを作成しました。

作成した「まぐろすごろく」は、活用してもらうために静岡市全ての放課後学童クラブに配布をしました。



○期待される効果

「まぐろすごろく」を行うことで、静岡市が冷凍マグロ水揚げ日本一であることやマグロの知識をふやすことができるツールになることが期待できます。

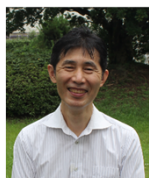


教員名 中村俊哉

所属学部・学科

健康プロデュース学部 こども健康学科

職位 准教授



連携先

静岡市 経済局農林水産部水産漁港課

